

亀山市新水道ビジョンに関する実績等報告書(令和6年度)

(上下水道部上水道課)

■計画の基本情報

計画期間	H 30 ~ R 9 年度
位置付け	本ビジョンは、平成25年3月に公表された厚生労働省「新水道ビジョン」を勘案し、第2次亀山市総合計画との整合を図りつつ、平成23年3月に策定した「亀山市水道ビジョン」に代わるものとして、亀山市水道事業の施策をまとめ、今後10年間の方向性を示す計画として、平成30年3月に策定したものである。
目的・概要	現状と将来の見通しを「安全」「強靱」「持続」の観点から分析・評価し、亀山市水道事業が抱える諸課題の解消と、人口減少問題や大規模地震対策など今後の事業を取り巻く環境の変化に的確に対応しながら、健全な事業運営を持続し、安全でおいしい水を安定供給するための施策をまとめたものである。
計画の骨格	<p>(基本理念) 次世代への使命 安全でおいしい水の安定供給</p> <p>(目標・重点施策)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 安全な水道 すべての市民が、いつでもどこでも安全でおいしい水が飲める水道 <ol style="list-style-type: none"> (1) 水質管理体制の強化 <ol style="list-style-type: none"> ① 持続的な安全性の強化 ② 水質監視体制の強化 (2) 安全で快適な配水システムの構築 <ol style="list-style-type: none"> ① 水道施設の集中監視 ② 快適な給水サービスの提供 (3) 環境への貢献 <ol style="list-style-type: none"> ① 地球温暖化防止への貢献 ② 環境教育の推進 2. 強靱な水道 自然災害による被災を最小限にとどめ、被災した場合であっても、迅速に復旧できるしなやかな水道 <ol style="list-style-type: none"> (1) 地震対策の実施 <ol style="list-style-type: none"> ① 計画的な耐震化の実施 ② 災害時における飲用水等の確保 (2) 風水害対策の実施 <ol style="list-style-type: none"> ① 風水害発生時の浸水対策 (3) 危機管理体制の強化 <ol style="list-style-type: none"> ① 応急給水体制の強化 ② 応急復旧体制の強化 3. 持続可能な水道 健全かつ安定的な事業運営が可能な水道 <ol style="list-style-type: none"> (1) 老朽施設等の計画的更新 <ol style="list-style-type: none"> ① 施設等の計画的な更新 ② 施設等台帳の継続的な整備 (2) 水道サービスの充実 <ol style="list-style-type: none"> ① 水道利用者への情報サービスの向上 ② 水道利用者への対応の迅速化 (3) 健全経営の強化 <ol style="list-style-type: none"> ① 有収率の向上 ② 適切な財源確保 ③ 事業経営の効率化 <p>(事業計画)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 水道整備年次計画 2. 財政計画

■ 成果指標

	成果指標名	単位	現状値	実績値 (R6)	目標値
1	【別紙のとおり】				
2					
3					
4					
5					

■ 計画の実績等

取組実績	<p>①水道法第20条第1項に基づき策定した水質検査計画により検査を実施し、水質の安全確保に取り組んだ。</p> <p>②次世代を担う子供たちへの環境教育を通じて、水の大切さの意識向上に取り組んだ。</p> <p>③大規模災害に備え、計画的な耐震化等の地震対策や施設の浸水対策、応急給水体制の強化に取り組み、災害に強い強靱な水道システムの構築を進めた。</p> <p>④老朽化した施設等の計画的な更新を進めた。</p> <p>⑤継続的に漏水調査を実施した。</p>
成果	<p>①令和6年度水質検査計画に基づき、毎月の定期検査に加え、年1回の全項目検査を実施し、水道水が国の定める基準に適合していることを確認した。また、近年注目されているPFOS及びPFOAについても、全11水源地で安全性を確認した。</p> <p>②市内7小学校で社会科の校外学習として水源地の見学を実施し、生徒315名に水がどのように家庭に届けられるかを説明し、水の大切さへの意識向上を図った。</p> <p>③亀山配水池への緊急遮断弁の設置及び辺法寺加圧ポンプ場への非常用発電設備の設置が完了した。さらに、災害時に迅速な応急給水を行うため、組立式給水タンク(1t)と車両積載型給水タンク(1.2t)を新たに購入し、応急給水体制の強化を図った。</p> <p>④各水道施設における計画的な修繕・更新や老朽化した水道管の更新を行った。</p> <p>⑤継続的な漏水調査を行い漏水箇所を修繕することにより、有収率を向上させ、経費削減を図った。</p>
総合計画推進への寄与度	<p>施策の方向①安全でおいしい水の安定供給については、地震対策等による一定の水の確保や徹底した水質検査の実施により、安全でおいしい水の安定供給の継続に寄与した。また、施策の方向③上下水道事業の健全経営については、水道施設の修繕・更新、漏水調査等により、経費削減と効率的な事業運営に貢献した。</p>

反省点・課題	<p>令和6年度末の実績として、緊急遮断弁の設置が目標値に達する等、概ね順調に推移している。しかし、水質の悪化や突発的な水質事故の懸念に加え、維持管理コストのさらなる低減と有収率向上が課題である。今後は、水質監視の強化と漏水対策の推進を通じて、安定した水道水の供給と経営効率の向上が求められる。</p>
--------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

今後の方向性	<p>本ビジョンは、前回の検証から3年が経過するため、これまでの進捗状況評価と点検を実施する。今後は、利便性向上と強靱化を推進するため、通信の高速化・安定化を図り、さらに、AIを活用した漏水調査に着手し、水安全計画の策定を進める予定である。これらの取組みで、より安全・安心で効率的な水道事業を目指します。</p>
--------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

■『亀山市新水道ビジョン』成果指標等一覧表

No	成果指標名(該当ページ)	年 度 単 位	現状値 H28	実績値						目標値 R9	
				H30	R1	R2	R3	R4	R5		R6
1	加圧ポンプの整備施設数 (P28「1 安全な水道」)	施設	—	1	2	2	3	3	3	3	3
2	設備更新時の省エネルギー 機器の導入施設数 (P28「1 安全な水道」)	施設	—	1	2	2	3	3	3	3	3
3	基幹管路の耐震化率 (P31「2 強靱な水道」)	%	20.3	20.3	20.8	21.5	22.7	※ 19.8	19.8	20.4	38.0
4	主要配水池への緊急遮断弁の 設置施設数 (P31「2 強靱な水道」)	施設	5	7	7	7	7	8	8	9	9
5	有収率(北中勢水道を除く) (P33「3 持続可能な水道」)	%	90.0	91.2	88.8	90.0	89.5	89.7	89.4	89.7	93.9
6	経常収支比率 (P33「3 持続可能な水道」)	%	110.10	120.39	122.92	120.67	120.44	114.74	115.09	117.43	111.30

※ 令和3年度に比べて耐震化率が減少した理由は、水道施設台帳を作成したことにより管路の総延長が増加したことによるものです。

・計画期間 平成30年度から平成39年(令和9年)度までの10年間